

公表

## 事業所における自己評価総括表【放課後等デイサービス】

○事業所名	社会福祉法人 四恩会 チェンジA.		
○保護者評価実施期間	令和7年12月21日	～	令和8年1月9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 20名	(回答者数)	19名
○従業者評価実施期間	令和7年12月21日	～	令和8年1月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月2日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○生活空間を活動部屋や課題の部屋・更衣室・静養室等に分け、一人ひとりに分かりやすいようにしている。また、室内をパーテーションで区切り、プライバシー配慮や集中できる空間を設けている。	○特性に合わせて、個室の活用や、小集団にグループを分ける等し、各部屋をその日の活動に合わせて工夫して使用している。	○一人ひとりに合わせてイラスト等を用いて、より視覚的にも分かりやすくすることで、安心して過ごすことができると思われる。
2	○個々の思いを聞き、主体性を持って過ごす時間の楽しみを持つことができるように、定期的に一人ひとりと話し合っている。お楽しみ会やご飯作り等を一緒に企画する機会を設けている。	○個々が意見が出せるよう、イラストや文字等を用い、安心できる環境で聞く等、個々の意見を反映できるように工夫している。 ○一人ひとりから出た意見を、まとめ、計画を立てている。当日は一人ひとりが主体となり活動を勧めることができるよう、計画・立案・実行の機会を設けている。	○個に応じた特性に合わせながら、一人ひとりが役割りをもって、活動に参加できるよう、今後も工夫を行っていく。
3	○日々の活動や、個々の課題は、一人ひとりに合ったものを検討し、提供している。	○日々の活動や、個々の課題は、ひとりひとりに合ったものを作成し、活動内容もより一層楽しむことができるように、職員が手作りで工夫し、提供している。	○活動内容も、個々の意見を取り入れ、楽しく参加できるものや、個別課題も今後も工夫していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○家族支援プログラムや、ご家族やきょうだい児を対象とした、研修の機会がない。	○保護者会として、年に2回交流イベントを設けたが、きょうだい児の参加希望者がいなかった。	○ご家族やきょうだい児の困りごと等を聴く機会を設け、家族支援につなげていく。
2	○今年度、初の試みとして近隣の地域住民を夏祭りに招待したが、地域住民との日常的なつながりが少ない。	○区長さんとは顔見知りになったが、町のイベントが事業所の休業日と重なり参加する機会が取れなかった。	○地域住民との関わりとして、事業所の夏祭りに招待したり、お買い物体験を通して、地域住民との交流を日常的に図る機会を設ける。 ○緊急時に連携を図ることができるよう、地域の災害時の訓練等に参加する機会を設ける。
3			

事業所名 社会福祉法人 四恩会 チェンジA.

公表日 令和8年2月28日

利用  
児童数 24名

回収数 19【配布20家族】

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19				〇すぐ隣に公園があるのも良い。	〇天気の良い日は公園に出かけたり、室内空間をうまく活用し、お一人おひとりが生活しやすい空間を心がけています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19				〇とてもキレイで良いと思います。 〇いつもきれいに片付いている事、活動によって部屋が違う事等、本人より聞いています。	〇毎日の清掃と消毒・整理整頓を行い、清潔感のある環境を心がけています。 〇活動も、静と動の活動空間を分ける等、落ち着いて活動に参加し、集中できる環境作りを心がけています。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18			1	〇公表されていると思いますが、この一年確認したことはありません。	〇HPに掲載し、契約時ご家族に配布しています。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19				〇夏休み中、たくさんお出かけに連れて行って頂き、ありがとうございました。	〇今後も、お子様が楽しく参加できる活動や制作を企画していきます。
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	13	3	1	2	〇地域の子供との交流・活動する機会があるのには分かりませんが、地域のイベント等(ポッチャ・フリスビー)に参加出来る事は、本人は喜んでます。	〇夏休み期間中、地域の学童との交流・当事業所の夏祭りに地域住民を招待し交流の機会を設けました。また、地域のスポーツイベントに参加し、中学生ボランティアや地域住民との交流の機会を図りました。今後も、地域のイベント等に積極的に参加し、活動の機会や関わりを増やしていきたいです。	
保護者への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	1	1	3	〇18番との違いは、事業所のプログラムの紹介や特性等の勉強会をすることでしょうか。	〇事業所として、ご家族を対象とした勉強会の機会がないため、外部の研修でご家族が参加できる研修があれば、今後も情報提供していきます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	19					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17	1		1	〇まだ利用していないので、今後ぜひ利用したいです。	〇保護者会開催時に、他のご家族との交流の機会を設けています。 〇今後、きょうだい参加型の企画も検討予定です。
	19 子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19					
20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19						

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18			1	○毎月の月間プログラムに活動内容やイベント・避難訓練・欠席時の連絡体制等を載せ、またイベント毎に詳しい内容をお知らせしています。 ○年に数回『ひだまり』を作成し、日々の様子等を掲載し、ご家族に配布しています。 ○自己評価の結果も、ご家族に配布するとともに、ホームページの載せ、毎年更新しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19				○好きな物や好きな人が居るチェンジは、子供も過ごしやすいようです。これからもよろしく願います。 ○現在は、なかなか通所できていませんが、行事に参加する際は、安心して参加できています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	2			○仲の良いお友達ができたと喜んで行っています。 ○いつも、楽しみにしています！ ○1日チェンジA. のときは、本当にうれしそうにしています！！
	29	事業所の支援に満足していますか。	19				○毎日、子供が安心して学校に通えるのも、私が働いているのもチェンジA. さんあってこそ成立しています。いつも色々考えて提案・実践してください、ありがとうございます。

公表

## 事業所における自己評価結果【放課後等デイサービス】

事業所名	社会福祉法人 四恩会 チェンジA.		公表日		令和8年2月28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		○活動部屋・課題部屋・更衣室等、静養室等の生活空間を分け、視覚的に分かりやすくイラスト等のツールで示している。 ○情報伝達は、個々に分かりやすくイラストや文字等を用いて示し、その都度振り返り改善している。	○課題として、個々の発達に合わせたツールの見直し、いろいろな場面で新たに手順書等の作成を行う点。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		○活動部屋ではプライバシーに配慮し、パーティションで区切る工夫をしている。 ○活動に合わせて部屋の仕切りを取り、一つの広い部屋に使う等の工夫をしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		○一人ひとりの要望に応じ、また落ち着ける空間として、個別の部屋を用意している。その際も、安全に過ごせるよう、職員が見守りを行っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		○法人内研修・内部研修・外部研修・伝達研修・スキルアップ研修の機会を確保している。	○次年度は、外部研修の機会を増やし、職員のスキルアップを図る。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		○日々のミーティングで支援内容について検討し、個々にあった課題や活動内容より手作りの教材や活動を提供している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		○医療機関等からの結果や情報は、ご家族から書類を頂き確認している。また、日々の様子は学校やご家族から情報をいただき、様子を観察している。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		○一人ひとりからも意見を聞き、日々の活動やお楽しみ会に盛り込み、一緒に活動を作り上げる機会を設けている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		○季節を感じるレクリエーションや制作に盛り込んだり、同じ活動でもルールを変えて楽しめるように工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		○緊急の場合はすぐに情報伝達を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		○年に2回、ご家族との面談の機会を設け、支援内容について話し合いを行い、必要に応じて見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		○個々に合わせて、日常生活スキルの向上や、創作活動・余暇の提供を組み合わせた個別支援計画を立て、支援を行っている。	○課題は、「地域交流の機会の提供」の不足が考えられるため改善したい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		○活動は、一人ひとりから意見を聞き、グループで話し合い、そして作り上げる楽しさを体験できる支援を組み立てている。 ○一人ひとりいつでも自分の思いを伝えることができるように、意見要望箱を設置している。	
関係機関や保	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		○市や学校・園・医療機関等の様子を聞き、関係機関と情報共有を行い、日々の支援につながるように連携を図っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		○学校送迎時に、行事や時間割変更等を確認し、迎え時間や急な変更時は連絡を頂けるように、学校に協力依頼をしている。 ○受け渡し時に、学校の様子や、事業所の様子を伝え、情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		○相談支援が開く、移行支援会議への参加 ○ご家族に了承を得て、支援の内容や様子を他利用事業所との連携が図れる体制を整えている。	

護 者 と の 連 携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		○夏休み期間を利用して、地域の学童との交流、当事業所の夏祭りに地域住民を招待することで交流の機会を設けた。 ○地域のスポーツイベントに参加、中学生ボランティアや地域住民との交流の機会を設けた。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		○送迎時やお迎えの際に、日々の様子を伝え合い、今後の支援課題についても情報を共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	○保護者からの相談に応じ、支援についての助言やツール等の提示をし、ご家庭との支援の共有をしている。 ○家族等が参加できる研修は、案内チラシを掲示・配布している。	○課題は、職員の質の向上として、ペアレント研修を受講を検討する。	
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		○何をしたいかなど、個別で話し合う機会を設け、意思の尊重と、個々の意向の確認を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		○個々に応じて分かりやすいようにイラスト等を用いて説明している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		○年に2回保護者会を開催し、ご家族参加型の内容を企画し、他のご家族との交流の機会を設けている。	○課題は、きょうだい同士の交流の機会を設ける。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		○苦情があった時はすぐに管理者に報告し、迅速に対応できるように、マニュアルやフローチャートを整備している。保護者へは、契約時に周知している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		○毎月の月間プログラムに活動内容やイベント・避難訓練・欠席時の連絡体制等を掲載し、詳しい内容をお知らせしている。 ○年に数回『ひだまり』を作成し、日々の様子等を掲載、ご家族に配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		○契約時に、『個人情報保護同意書』と『プライバシー配慮同意書』を保護者に説明し、同意と署名を得ている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		○個々に応じてイラストや写真や文字を用いる等、相手に伝わりやすい方法を工夫している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			○今後も、地域との関わりを増やし、地域の行事にも参加していきたい。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		○避難訓練は緊急時の対応を学ぶため、実践練習を取り入れている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		○保護者に服薬やてんかん発作の状況を聞き、個々に対応マニュアルを作成し、保護者と情報共有している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		○医師の指示書に基づき、対応マニュアル（エピペン使用）を作成している。 ○地域の消防署に依頼し、エピペンの講習と、緊急時の対応の確認を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		○緊急時対応マニュアルを作成し、ご家族に説明と配布を行い、緊急時の連携をお願いしている。 ○地域の消防からの依頼で、『緊急搬送時の依頼書』を作成し、保護者の説明と同意を得て、緊急時の協力をお願いしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		○事業所内で起こりうるヒヤリハット事例集をもとに内部研修を開くなど、再発防止に向けての取り組みを行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		○毎月の全体会議で、『虐待防止・身体拘束禁止委員会』を開催している。年に2回内部研修と、年に1回県の研修に参加し、内容を全職員に周知している。 ○職場セルフチェックシートを2ヶ月に1度実施し、虐待防止につながるよう、風通しの良い職場作りを心がけている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		○『虐待防止・身体拘束禁止マニュアル』や対応フローチャート等を整備している。 ○やむを得ず行う場合は、双方へ事前に詳しく説明し、了解を得た上で、個別支援計画に記載し、同意と署名を頂く成し、面談時に保護者に説明している。		

公表

## 事業所における自己評価総括表【児童発達支援】

○事業所名	社会福祉法人 四恩会 チェンジA.		
○保護者評価実施期間	令和7年12月20日		令和8年1月9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○従業者評価実施期間	令和7年12月20日		令和8年1月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月2日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○生活空間を活動部屋や課題の部屋・更衣室・静養室等に分け、分かりやすいようにしている。また、室内をパーティションで区切り、プライバシー配慮や集中できる空間を設けている。	○個々のこどもの特性に合わせて、個室の活用や、小集団にグループを分ける等し、各部屋をその日の活動に合わせて工夫して使用している。	○個に応じた対応のイラスト等を用いて、より視覚的にも分かりやすくすることで、安心して過ごすことができると思われる。
2	○個々のこどもの特性を踏まえ、発達に合わせたツールや課題・制作を提供している。	○発達と特性に合わせたツールや課題・制作を、職員が手作りしている。	○成長に合わせて、ツールや課題を作成していく。
3	○園や関係機関と定期的話し合う機会を設け、日々の支援内容や取組を共有している。	○利用時に、ご家族や園での取組を聞き、課題や遊び、排泄面等の取組の連携を図り、必要に応じて、個別支援計画等の見直しを行っている。	○個々の発達や成長も日々変化するため、ご家族やこども園での情報交換をきめ細かくし、成長につなげていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○地域の子ども達との交流の機会が少ない。	○事業所内だけで交流している。 ○地域の子ども達との交流の機会を増やすための働きかけが弱い。	○地域の学童や交流センター等、他の子ども達と交流する機会を設ける。
2	○家族支援プログラムや、ご家族やきょうだい児を対象とした交流の機会が少ない。	○保護者会として、年に2回交流イベントを設けたが、きょうだい児の参加希望者がいなかった。	○今後は、ご家族やきょうだい児の困りごとや要望等を聴く機会を増やし、家族支援につなげていく。
3	○今年度、初の試みとして近隣の地域住民を夏祭りに招待したが、地域住民と日常的なつながりが少ない。	○区長さんとは顔見知りになったが、区の情報が入る機会が無く、イベントも事業所の休業日と重なり、参加する機会が取れなかった。	○地域住民との関わりとして、事業所の夏祭りに招待したり、お買い物体験を通して、地域住民との交流を図る機会を設ける。 ○緊急時に連携を図ることができるよう、地域の災害時の訓練等に参加する機会を設ける。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	社会福祉法人 四恩会 チェンジA.				公表日	令和8年 2月 28日	
					利用児童数	1名	回収数 1
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	1					
	2	1					
	3	1					
	4	1					
適切 な 支 援 の 提 供	5	1					
	6	1					
	7	1					
	8	1					
	9	1					
	10	1					
	11	1					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	1					
	13	1					
	14				1		○今後も、ご家族が参加できる研修は、案内チラシを掲示・配布していきます。
	15	1					
	16	1					
	17	1					
	18	1					
	19	1					
	20				1		○リラックスできる環境のもと、写真やイラスト・文字等を用い、わかりやすい言葉で伝えるよう心がけています。
	21				1		○毎月の月間プログラムに活動内容やイベント・避難訓練・欠席時の連絡体制等を載せ、またイベント毎に詳しい内容をお知らせしています。 ○年に数回『ひだまり』を作成し、日々の様子等を掲載し、ご家族に配布しています。
22	1						
非 常 時 等 の 対 応	23	1					
	24	1					
	25	1					
	26	1					
満 足 度	27	1					○お子様とご家族が安心して利用していただけるよう職員一同あたたかい雰囲気づくりを心がけていきます。
	28	1					○笑顔があふれる空間であるよう努めていきます
	29	1					○ご家族皆様のご理解、ご協力に日々感謝しております。

事業所名 社会福祉法人 四恩会 チェンジA.

公表日

令和8年2月28日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		○活動部屋・課題部屋・更衣室・静養室等の空間を分け、視覚的に分かりやすくイラストのツールで示している。 ○情報伝達は、分かりやすくイラストや文字等を用いて示している。	○課題としては、個々の発達に合わせたツールの見直しと、いろいろな場面で新たに手順書等の作成を行う点
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		○活動部屋はパーティションで仕切りプライベートに配慮している。 ○午睡は、静かな環境と空間を設けている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		○要望に応じ、落ち着ける個別部屋を用意している。また、安全のために、職員が見守りを行っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		○法人内研修・内部研修・外部研修・伝達研修・スキルアップ研修の機会を確保している。	○次年度は、外部研修の機会を増やし、職員のスキルアップを図る。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		○個々のこどもと保護者のニーズや課題を全職員の意見を聞き、客観的に分析し作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		○日々のミーティングで支援内容について、検討する機会を設け、個々にあった課題や活動内容を検討し、手作りの教材や活動を提供している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		○医療機関等からの結果や情報は、ご家族から書類を提出して頂き確認している。また、日々の様子は学校やご家族から聞き取りを行うとともに様子を観察している。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		○一人ひとりから意見を聞き、日々の活動やお楽しみ会に盛り込み、一緒に活動を作り上げる機会を設けている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		○レクリエーションや制作に季節感を盛り込む。同じ活動でもルールを変えて楽しめるように工夫している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		○緊急の場合はすぐに情報伝達を行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		○年に2回、ご家族との面談の機会を設け、支援内容について話し合い、必要に応じて見直しを行っている。
関係機関や保護者との連	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		○併行利用のため、こども園での様子を見学したり、電話で様子を伺うなどし、情報共有と連携を図っている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		○サービス担当者会議に出席し、情報共有を行い、支援内容についても連携を図っている。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			

携	31	(31は、事業所のみ回答)	○		○個の対応への支援についての相談をしたり、市のこども部会で話し合う機会を設けている。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		○夏休み期間を利用し、地域の学童との交流と、当事業所の夏祭りに、地域住民を招待し、交流の機会を設けた。 ○地域のスポーツイベントに参加し、中学生ボランティアや地域住民との交流の機会をもった。	○今後の課題として、地域の児童館との交流の機会を作る等、働きかけていく予定。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
保 護 者 へ の 説 明 等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		○保護者からの相談に応じ、支援についての助言やツール等の提示をし、ご家庭との支援の共有をしている。 ○家族等が参加できる研修は、案内チラシを掲示・配布している。	○今後の課題として、職員の質の向上として、ペアレント研修を受講を検討する。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		○面談を定期的に行い、保護者から意向の確認を行っている。 ○何をしたいかなど、個々の意思の尊重と意向の確認を行っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		○年に2回保護者会を開催し、ご家族参加型の内容を企画し、他のご家族との交流の機会を設けている。	○きょうだい同士の交流の機会を設ける。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		○毎月の月間プログラムに活動内容やイベント等・欠席時の連絡体制を掲載し、詳しい内容をお知らせしている。 ○年に数回『ひだまり』を作成し、日々の様子等を掲載し、ご家族に配布している。	○HPやSNSの活用が十分ではないため、改善していきたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		○契約時に、『個人情報保護同意書』と『プライバシー配慮同意書』を保護者に説明し、同意と署名を得ている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		○イラストや文字を用いる等、相手に伝わりやすい方法を工夫している。	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		○事業所の夏祭りに、地域住民を招待し、交流を図った。	○今後も、地域との関わりを日常的に増やし、行事にも参加していきたい。	

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		○保護者へは、契約時にマニュアルの説明を行い、周知している。 ○避難訓練は緊急時の対応を学ぶ機会として、実践練習を取り入れている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		○保護者に服薬やてんかん発作の状況を聞き、個々に対応マニュアルを作成し、保護者と情報共有している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		○地域の消防署に依頼し、エピペンの講習と、緊急時の対応の確認を行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		○緊急時対応マニュアルを作成し、ご家族に説明と配布を行い、緊急時の連携をお願いしている。 ○地域消防の依頼で、『緊急搬送時の依頼書』を作成し、保護者に説明と同意を得て、協力をお願いしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		○事業所内で起こりうるヒヤリハット事例集をもとに内部研修を開き、再発防止への取り組みを行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		○毎月、『虐待防止・身体拘束禁止委員会』を開催している。年に2回内部研修、年に1回県の研修に参加し、内容を全職員に周知している。 ○職場セルフチェックシートを2ヶ月に1度実施し、虐待防止につながるよう風通しの良い職場作りを心がけている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		○『虐待防止・身体拘束禁止マニュアル』や対応フローチャート等を整備している。 ○やむを得ず行う場合は、双方へ事前に詳しく説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載し、同意と署名を頂く体制を整えている。		